福島市立清明小学校　　学校だより　令和３年５月７日　第 ６ 号　　〈文責〉校長

みんなとともに笑顔いっぱい　ー「学びあい」「認めあい」「高めあい」ー

みんなとともに

5月8日（土）は「スポーツフェスティバル」が開催されます。「運動会」ではなく「スポーツフェスティバル」と名付けています。そこに込めている思いを読み取っていただけるとありがたく思います。さて、「連休」も終わりました。学校生活もここからが本番です。張り切って過ごしてきた4月も終わり“通常モード”での再出発となります。ぜひ、今の“よい波”を続けていきたいと思います。

今年度の「鼓笛パレード」について

参加する５・６年の保護者の皆様には、市教育長と実行委員長連名の「お願い」の文書が届いていますが、改めて「福島市小学校鼓笛パレード」についてお知らせします。

【第４４回福島市小学校鼓笛パレード】

１　期　日　〇 令和3年5月１９日（水）８：４５～１５：４５　（ 順延日　令和3年5月２０（木））
※ 清明小学校　演奏開始予定時刻　１３：３８

２　会　場　〇 とうほう・みんなのスタジアム（あづま陸上競技場）

３　内　容　〇 陸上競技場内を３００m程度（ホームストレート→カーブ→バックストレート）を、演奏をしながら１校ずつ行進する。

４　放　送　〇 福島テレビで放映する。　［放映日］5月29日（土）１４：００～１４：５５

５　その他　〇 観覧者は、参加児童につき１名とする。「来場者チェックシート」を当日提出する。
〇 方部の学校の演奏が終わったら、来場者を入れ替える。（本校は「西方部」）

これまで市街地で行っていましたが、今年度は会場を「陸上競技場」に移して行います。また、残念ではありますが、観覧者も限定しての開催となります。このように、新型コロナウイルスへの感染防止に留意して行いますので、会場にお出でになれない方は、テレビでの放映をご覧ください。

【校長のつぶやき】　その６８　「プレバト!!」

毎週木曜日の午後7時から「プレバト!!」という番組をやっているが、その中に「俳句の才能査定ランキング」というコーナーがある。「お題」を受けた芸能人が、それぞれに俳句を披露する。それを元中学校国語科教師で現在は俳人の夏井いつき先生が、ズバッと切るのだ。添削をするその腕は確かで、新たに生まれ変わった俳句には輝きが増している。この番組には福島市出身（福島二小に通っていた）の梅沢富美男さんも「永世名人」として活躍している。

さて、この番組に触発された私の「マイブーム」は「俳句づくり」である。俳句をスマホに書き溜め、新聞社の読者欄に投稿してみた。2回投稿したが、未だ反応はない。おそらく「落選」であろう。

〈投稿した一句〉　「清明の風心地よしランドセル」

清明小学校の春の様子を、二十四節気の「清明」とかけてみた。おそらく夏井先生が見たら「季語の無駄遣い。『清明』には『心地よし』という意味が含まれている。『才能なし』」と言われそうである。

俳句に挑戦してみて思うことは「言葉を吟味する経験ができる」ということである。「十七音（五七五）」という制限があるが故に、どの言葉が「自分の表現したいこと」にふさわしいか、浮かんだ言葉を入れ替えてみる。ピッタリした言葉に出あって腑に落ちると、完成である。

さて、この経験を子どもたちにもさせたらどうだろう。題して「五・七・五あそび」である。「あそび」の一つとして取り組んでみたら、「楽しい」のではないかなあ。

【校長のつぶやき】　その６９　「スイセン&チューリップ」

昨年度の「学校だより 第３３号」に載せた「校長のつぶやき その５２」の続きである。雪が降る前に「スイセン２０球」と「チューリップ９０球」の球根を妻の実家の敷地に埋めておいた。雪が解け地温が上がり始めると、それぞれの花を咲かせ始めた。球根の種類もいろいろで、埋めた場所もいろいろなので「宝さがし」状態である。その分、「見つける楽しみ」もあるのかもしれない。この冬は雪が多かった。その期間をじっと耐えていたのかと思うと、愛おしさもひとしお（一入）である。つい“人生”に重ねてみたくなる。